

59年9月9日 札幌 旭川合同支部総会 久保田先生の講演

宇宙哲学とアダムスキー問題の未来

北海道は、外国にまたよ様な清新な感じがするところで、家並一つみても、本州と違う。精神も物質も、同様に大切なものである。宇宙からの訪肉着に書かれているように、スピークヒーパルのオモも、生活自体のものすごく科学的で、両方のバランスが取れている。抽象的なことばかり言うていてもはたがたいので、具作的な話をしたい。

地球人と云うのは、万物一件感がまるでない。全て物を個々に分離した、分割したものと云っている。これは大変なまちがいで、万物は一件化したものであり、表面上、肉眼で見てわかっているように見えるけれども、

ウコンメソノに書いたように、全てが互に原子から出き出きしている。最小基本単位は元素まであり、わかれ88種でできていることに対して、人は驚くべき。おこなわれている。これが地球人の最大の欠かんで、もっと、驚くべきや神秘を感じようにならなくてはかたである。

あらゆる物育は、母の元素で出来ていて、これがあらゆる物に活用されている。だから一体である。例、母乳(母親と子とは一件化したものである)

他人も一件である。なせなら、同じ空気を吸っているからである。食べ物も、同じ釜の飯、というように、親近感もとはずわて一つのものである。

②この万物一件感のフリーリニアを極端なまでに同めなさい。これを頭の中だけで考えているだけでは、全然だめです。フリーリニアを全身からわきまかします。リウツノスなびがう起きますことです。

すると、テレパシーの能力が出てくる。それから、環境がみるみるうちに、良い方へ変わります。例、職場でもやばい人がいる。↓万物一件感のフリーリニアをおこすと、相手が、かつとかわります。何か相手に影響をおよぼしているのだから、いんてんです。

進化した感星の人々は、何をかても、全て、自分自身であるかのように、観察する。というのが最大のポイントです。これは、なかなかわきまか(いんてん)です。しかも、自己トリーニニアをやれば、そのフリーリニアは、ゆずり向まうてくるんです。

イエスが、自分を愛するよう(に、他人を愛しなさい)といつた音心は、ユダヤ教の天主、↓まらかっている。観念の自由心でイエスの言葉をとらえて、愛するといふことは、自分と他人と不可分の状態であることを感知することになり、その音心で、科学知識は、大変大切で、これが、全世界りに広まるように、いつかぼろと思ひます。

科学的な面から、宇宙の宗教的な面から、一件感を説いてもかたである。科学の面から、この一件感の認識され、広まるようにならねば、

③万物を今より平等に見て、差別をなくすようにも、下さい(という)ことです。礼儀作法をい保えた上で、内心で人間は全て平等であることを強く思ひ、近所の人なりも扱うように同じように扱って下さい。決して神様扱いはしないで下さいと、おっしゃって扱われますか。私には、やけに進歩したオマです。

神様かんにみえんてすか、

・そして、自分のパワーでもって、相対心パワーといつか、フリーリニグというもので、宇宙全体を包みこえてしまうようなそういうフリーリニグを起さないと、自分のフリーリニグを広めること、広げることを着目しています。

・「ゲームスキー」は、あらゆる原子の中に「スパー」があることになっています。  
「スパー」は、火花という他に、生気の音の意味、生命力、生命、そのもの、これが宇宙の意識そのものですね。これは単なる力であって、音意識です。これは意識であるからこそ、原子を結合させる力があるわけであって、結合させるから自分なので、物質ができるのです。  
かためるという

力と音意識はあつて、音意識は、物を集めて凝集させる力があります。その最も到達した状態が、人作です。

・細胞を70と80年でも集めてバラバラにならないうように固めて維持している力は、同じもの、ドイツのニコシニカーが、これは「人作は、秩序」を吸い込んでいっている」と表現。  
ア氏流に言えば、「宇宙の音意識ドリカされていっている」といっています。

Ex. イヤヤ人かくる。ふつうな「イヤヤ」(イヤヤ)か、それは目の中の細胞が判断。そう思わないで、相手は、原子の固まりか、ということとは、単に物質という風に見えるのではなく、生気がたまっている。↓「宇宙の意識のかたまり」。↓「神のかたまり」。どんな人を見ても、神とみなさうやならない。ちよつと宗教的にとらえられてしまう)から、神という言葉はあまり使わない。

・「イヤヤ」(イヤヤ)を「神のかたまり」と思えば、自分に対して「イヤヤ」ことをしても気にならなくなります。・「相手」もその内、変化してきます。

・人間のフリーリニグや相対心は、必ず周囲に影響を与えたり受けるので、必ず相手も変わっていきます。  
感情(いう)のは、一瞬的なもので、絶対的なものではありませんから、決して相手の感情に乗ってはいけません。同調しないで、ほめてあげれば、いつか必ず静まてきます。いつか消えるところが、地球人は、相手の感情に乗ってしまつて同調(しま)う。絶対視してしまふ。

◎ 自分の内部、かつく音意識の音に耳をわたむけ(なさい)。  
ア氏もいっているが、みなさん、ピピと音がしてもこれを聞かない。こうすれば、何でしりかかります。私がいちいち音内

Ex. イエスとその弟子10人、その中から12人選んだ。その10人の中に、GAP(会員)の中の人で、救世主(人)か、必ず何人かいる筈なので、(か)れる(よ)。(か)こと聞いた。それは、あなたの内部の音意識に聞きなさい、というて、教えてくれる。

④ 未来に聞けることは、教えてくれる。  
東吉小で大地震は、起らない。  
オ三次大戦は、起らない。

◎ オ三次大戦は、必ず起きる。  
ここで、相手は、(か)ない。  
ここで、教えてくれるわけ(で)ない。けじめを(か)ける。何事も(か)ま(か)ことを聞(き)とい(い)う。

② 全面核戦争といふ(こと)は、スパー(ア)ア(ア)ア(ア)は、ある機械を用いて、核兵器をか(か)んに(か)します。通常(ア)兵器は、地球人に(か)せて(か)く(か)す。

その通商や兵器の細工、細工器具といたるもので戦争、（かしまめ、いつとここで発生する）はわがまま人し、簡単に起るなと思っています。

地球人は、感情の抑制ができていない。どうすれば感情の抑制を長続きさせることができるか、これをスペースヒールは研究している。

しかし、感情を完全になくしてしまおうというのは、まちがいで、なくすことはできないから、これを抑制すればよいのである。

◎どうすれば感情の抑制ができるか、四官をあるいに尊敬しあうようにする。あるいには抑制する。とよみである。目、耳、鼻、口、おまへに尊重致す。目に、そんなに構うなと。

目によびかける。四官によびかけて抑制する。これをアダムスキーは、スペースヒールから伝えられて知ったのである。

◎バック・ナーバーの空り贈と、敵本活動をするスペースヒールは、大いに期待し、又ほめてあられるので、強かに進めてゆきたい。このように正道にのってやうているのは、日本GAPがかり。

◎円盤を（よう）中見る人は、これは上空から激刺されている。

◎オニエルサレム旅行中は名を覚えて、アダムスキー哲学の偉大さを世の衣がう感じたといふこと。旅行の動機を感じたといふ語をしている時、円盤が出現、これは、激刺が勇気づけるために出現されたもの。

◎アダムスキーから伝えられたことで、下着類は、木綿やウールのような天然繊維のものかよ、とのこと。何物にもなる電気を流すのに必要である。これは重要なことである。化センは、静電気がおきるのをよくない。

いふ必ずアダムスキーが認められる。そう遠いことではない。

### 質疑応答

7. ゲルマニウムは、知く人とそうではない人がある。

8. ア氏の哲学に熟中していた有名人としては、三島由起夫と、徳川夢声。まひ其能人でもたくさんいて、ア氏全集を読んでいる。

9. これからのGAPの展望としては、ヒトにア氏問題をもちと世界の中に広めたい考え。そのためには、財団法人にて出版物を全国に流したい。たか資金が最低一億必要。

10. 感情とエゴのコントロールができていないので、これを長くコントロールする方法を考えて下さって、（リキ）に頼らなくても、それは十分です。

11. 宇宙の二件法として、遠い星雲の宇宙をみる。イメージを構う。強力に構う。

12. 敵本活動では、オニエルとオニエルを（手）に構う。

13. 教念は、神とは宇宙の意識であり、その中に在る。ミッドウェイを唱えて、信念の力を方向めればよい（知）の。

5. スペースプログラムは、地球上でははかり進んで、その中心は、核兵器を凌駕すること。

6. 有素な細菌は、地球の低次元であるから、この低い波動にうって、できたものである。つまり、このようものは、高次元な惑星にはいらない。

7. 恐れ心を捨てない。戦世の思ひ、戦争後の食糧不足の中で生きて、残ってもよく、地獄のよう、これよりも、堂々と死んで、良き惑星に生まれかわる。